

a 学校教育目標	自律の精神の確立と主体的に学ぶ生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 「社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成」 【ビジョン】(自校の将来像) 「生徒が、安全で安心して有意義に過ごせて、社会人としての資質・能力を身に付けられる学校」 (めざす学校像) ・安全で安心して有意義に過ごせる学校 ・笑顔を忘れず、明るく温かく人に接し、「ありがとう」がふれる学校 ・夢を志に高める学校 ・自信を持ち光り輝いて行動し、活力のある学校
----------	----------------------	----------------------	--

評価計画				自己評価					改善方針	学校関係者評価					
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	7月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方針	l 評価			m コメント	
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ		
確かな学力の定着	「対話」と「振り返り」の充実を図り、生徒が自律的に学びに向かう授業づくりの推進	○「本郷中スタンダード」(授業モデル)を活用した授業づくり ○1人1研究授業の実施及び相互参観 ○学び合い、ファシリテートを考慮した授業づくりの推進 ○ICT機器の効果的な活用	生徒授業アンケート「考えたことなどを書いたり表現したりする時間が多く取り入れられている」の肯定的評価の割合	90%	91%		101%	A	・昨年度より達成値が上回った。(R5:87%→R6:91%) ・現2・3年生の達成値に課題があったが改善した。(R5:87%→R6:91%) ・1年生の達成率が目標を下回った。(89%)	・学校経営会議と教育研究委員会を中核に、各学年、各教科統一した取組を推進する。 ・1人1授業研究の事前・事後の取組(検討・協議・振り返り)を重視して取り組み、協議結果も全職員に周知する。	5	0	1	○ICT機器の活用方法など生徒と一緒に考え、つくりあげていくのも良いのではないかと。 ○どの学年も落ちついた授業態度である。授業内容もいろいろ工夫されているのを感じる。このことが実力テストの達成値につながっていないのが不思議である。2年生の社数、3年生の数理が40点以下というのが気になる。生徒の苦手意識を克服させる取組が必要に思う。家庭学習は毎日学習する必要があるもの(ドリル系)を決めてさせる方法もあると思う。 ○学力向上のためにも、授業ノートの記入や本GOノート・学習ノートは必ず取り組むように指導をお願いします。 ○「学校が楽しい」と感じる生徒を増やしたい、という学校の方向性は素晴らしいと思います。「楽しさ」をどう捉えられるか…。例えば、「自分で考える」「自分で答える」「みんなに伝える・伝える」ことができるのは楽しいはず。小中が連携して、学びの手ごたえ、学びがいをともに持たせていきたいですね。 ○授業を拝見し、どのクラスも生徒が落ち着いて授業に臨んでいることがわかりました。 ○生徒アンケートから、先生方が日頃より教授型でなく、生徒同士が話し合ったり、振り返ったりする活動を取り入れておられることがわかりました。 ○「生徒が自律的に学びに向かう授業づくりの推進」を目標にされているので、「生徒が自律的に学び合う姿」について、再度教職員皆さんで考えてみることも大事だと思います。そのうえで、「1人1研究授業の実施と相互参観」「ICT機器の効果的な活用」が目標達成のための方策に明示されているので、その取組がどうだったのか検証されるとよいと思います。 ○基礎基本定着のために、家庭学習だけでなく放課後等を活用した主体的な学習時間をつくるという改善方針が大変良いと思います。下期ではぜひ、この取組の成果を示してほしいです。 ○家庭学習の習慣は、小学校の課題でもあります。小・中で連携自主的・自律的な家庭学習ができる子どもたちを育てていきたいですね。	
			生徒授業アンケート「グループ活動やペア活動がよく取り入れられている」の肯定的評価の割合	90%	85%		94%	B	・1・2年生の授業に課題がある。 ・昨年度より達成値が上回った。(R5:83%→R6:85%) ・現2・3年生の達成値が昨年同時期より改善した。(2年:R5:72%→R6:89%) (3年:R5:89%→R6:90%)	・教育研究と生徒指導(集団づくり)がリンクして取り組めるよう校内研修を実施したり、各種委員会が連携して取組を推進する。	5	0	1		
		基礎・基本的な内容を定着させる学習習慣の確立	○「本GOノート」の効果的な活用と、統一した組織的な取組 ○家庭での学習習慣を確立するための目標学習時間(最低90分以上)の達成	1月の実力テストで、各学年各教科の平均点が50点を上回る教科数の割合	80% 8月テスト	36% 8月テスト		45% 8月テスト	D	・8月実施の実力テストの結果では、学年が上がるごとに平均点が下降傾向である。特に、2年生の社数、3年生の数理は、40点以下である。 ・学力向上に向けて、帰りの短学活や放課後の時間で、ドリルパークやセミナー等を活用し、個別の理解度に合った主体的な学習時間をつくる。	・学力向上に向けて、帰りの短学活や放課後の時間で、ドリルパークやセミナー等を活用し、個別の理解度に合った主体的な学習時間をつくる。 ・本GOノート(自主学習ノート)が、やっているだけの自主学習にならないように、内容が良い学習ノートを掲示するなど、内容の充実に取り組む。	4	1		1
豊かな心の育成	積極的な生徒指導の推進	○生徒会活動の活性化による自治的風土の醸成 ○ボランティア活動の推進 ○集団づくりの推進	生徒生活アンケート「地域や社会をよくするために何をすべきか考えている」割合	80%	66%		83%	B	・達成値が昨年度と変わらず、目標値を下回った。	・2学期の重点項目として、生活三訓を再度全校生徒へ周知した。委員会でも問題提起し、生徒会中心にレベルアップを目指す。	5	1	0	○コロナ禍以降、なかなか人とつながることを制限されたことが続き、なかなか元に戻るは大変だと思うが、地道な取組をしてください。 ○何事も達成感を持つような取組・指導を期待しています。 ○現在の落ち着いた雰囲気や自主性を持って向上させたいという方向性も素晴らしいと思います。主体的な活動場面を教材・教科等で増やし、「何を、なぜ、何のためにしなければならぬのか」を考えさせていきたいですね。(小学校でもその方向で考え、取り組んでいきます。) ○朝、登校中の生徒さんのあいさつは、昨年度よりもはっきりと気持ちの良いあいさつになっていると感じます。先生方の取組の成果だと感じます。	
			「生活三訓(あいさつをする・時間を守る・身だしなみを整える)」の徹底	○地域や保護者、来校者にレベル3以上(自分から会釈して)のあいさつ ○5分前行動、集会への無言入退場。 ○身辺整理(教室環境の改善)	生徒生活アンケート「地域や保護者や来校者へレベル3以上(自分から会釈して)のあいさつができる」生徒の割合	90%	88%		98%	B	達成値が昨年度と変わらず、目標値を下回った。	・生徒会執行部を中心に「本郷中学生ができること」を考え、行動できる取り組みを行う。	5		1
健やかな身体	自らの健康を自ら管理できる生徒の育成	自ら積極的に体づくりに励む	○食への感謝の気持ちの育成。(「弁当の日」の取組) ○基礎トレーニングの工夫等、体力向上の取組	体力・運動能力テストで全国平均を上回る種目の割合	80%	35%		44%	D	・昨年度の達成値より上回ったが、目標値を下回った。2・3学年が特に全国平均を下回る	・体育授業時における補教運動の充実及び意欲的に活動することができるような声掛けや場の設定 ・11月13日に実施する「自分でお弁当を作る」取組を栄養教諭と連携して行っていく。	5	1	0	○達成値が50%を上回るようにしたい。体力・運動能力テストの実施する時、生徒に全力で取り組むようなアドバイスも必要かもしれません。昼休憩のグラウンドでの遊び時間の確保も有効だと思う。 ○登下校は自分の足で登校するような生徒に育てたい。自動車の送迎では体力の低下に影響するので心配である。 ○体力運動能力テストで全国平均を上回る種目の割合80%という目標設定が、実態と合っていたのかということが気になります。体育の補強運動だけで、目標達成することは、なかなか難しいですね。重点を決めて補強運動され、その伸びで検証されてはどうでしょうか? ○お弁当を自分で作る取組が楽しみです。取組によって、生徒が自身の健康と食を関連付けて、気付きが生まれるといいです。
働き方改革の推進	ワーク・ライフバランスの確保	長時間勤務の縮減	・上限の目安時間を超えない時間管理の徹底(月45h) ・やりがい、働きがい(ウエルビーイング)の実感 ・定時退校日の厳守	・時間外在校時間 月45時間以内の職員の割合 ・やりがい、働きがいを感じている教職員の割合	90%	65%		72%	C	・目標達成までもう少しの段階。月45時間以内の教職員の割合は、昨年度同時期49%に対して、今年度は72%へと増加している。	・後期から始まる6時間授業日課の影響が、教職員の時間管理にどのように変化するか注視していく。改善の必要があれば、柔軟に対応していく。 ・働きがいに関しては、目標値達成しているが、働きがい低い教職員も数名いる。	6	0	0	○勤務体制が短縮されたことにより、先生方に余裕も出てきているようです。ゆとりが持てる学校づくりをしてください。 ○ガンバラー先生!! 限りなく子供たちの成長に前進あるのみです。昨年度からの伸びを成果として捉え、その要因を分析しながら改善を進めておられることが良いと思います。着実に進めていきたいですね。 ○時間外勤務縮減だけにとどまらず、先生方がやりがいをもって働いておられるということが素晴らしいと思います。できれば、どんな時に、どのようなことで「やりがい」を感じておられるかを知りたいです。

【j:自己評価 評価】
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60
【l:学校関係者評価 評価】
イ:自己評価は適正である。 ロ:自己評価は適正でない。